

ホタルの不思議 お話しと観察会報告

新横浜多目的遊水地にやさしいホタルの光がみごとに灯りました。先生のお話しは分りやすく面白かったと大好評！お話しと観察会で延べ220人も参加がありました。申し込み多数で定員を増やしましたが、お断わりする方もたくさんいらして申し訳ありませんでした。流域センターでは地図をお渡しし、ホタルのいる場所をご案内しています。

ホタルのお話し

日時 2011年6月4日(土)17:00～18:30
場所 鶴見川流域センター1Fコミュニティルーム



講師の桐蔭学園高校池谷先生の分りやすく楽しいお話にみんな大満足。

参加者大人64人、子ども25人。会場は満員で熱気むんむん。知っているようで意外と知らないホタルの生態をクイズ形式で楽しく学びました。ゲンジボタルやヘイケボタルの違い。ホタルが育ってゆく過程の様子。明暗を作ったバットに幼虫を置くとすぐさま暗い場所に集まって固まってしまう動画に、明るいところが嫌いな生態を納得。部屋を暗くすると、先生がもってこられたヘイケボタルがすぐさま緑の発光始め、一同感動。

かつて学校の裏山にいたホタルを生徒が持ち込んだことから、先生とホタルとのお付き合いが始まりました。独学で飼育方法を見出し、今では流域のホタルの保全活動という意味が生まれてうれしいと話される先生のお人柄にも参加者は深く感動しました。



観察会

日時 2011年6月4日(土)19:15～20:00
場所 新横浜公園ホタル水路
参加者 大人88人 子ども43人

現場にゆくまで、はたして光ってくれるかドキドキでしたが、みごと！100以上のやさしい緑の点滅があそこにもここにもありました。ホタルのお話しをお聞きした後だっただけに、より興味をもって観察できました。

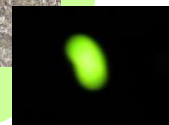
メスがオスを誘い、ロマンティックなラブコール。点滅の仕方、すてきなオスかメスか判断するのでしょうか。素敵な出会いがであったときには、特別な愛のシグナルの発生をさせていることなのでしょう。こんなホタルを私たちは愛さずにはいられません。かつては実行できると思えなかった新横浜のホタル観察会。今後は放流でなく新横浜のこの水辺で自生するホタルを育てるのが池谷先生と私たちの大きな夢ですね。



観察地へ向かう参加者たちは期待でいっぱい



ここが光ります



幻想的な緑の発光

なるほど生きもの講座全3回実施 とうご期待
7/30 水の中の小さな生きもの 8/6 身近な生きものハチのくらし

＜主催＞ NPO鶴見川流域ネットワーク（npoTRネット）連携鶴見川流域ネットワーク（連携TRネット）
＜共催＞ 地域防災施設鶴見川流域センター 日産スタジアム（横浜市体育協会）
＜協力＞ デイリーヤマザキ横浜小机町店

